

平成26年度

美深町行政評価報告書

(平成25年度施策)

平成26年度行政評価（平成25年度施策）について、次のとおり報告する。

平成26年9月2日

美深町行政評価町民委員会 委員長 山崎 晴一

美深町行政評価委員会 委員長 今泉 和司

1 評価の対象

第5次美深町総合計画に基づいた31の施策を評価した。

2 評価の方法

258の事務事業からなる102の主要施策について、行政評価委員会から提出された評価調書及び補足説明によって、3部会において担当する施策を4段階で評価した。

| | |
|---|-----------------------------|
| ※1 行政評価町民委員会 委員長 山崎 晴一、 副委員長 平田 耕二 (◎は部会長 ○は副部会長) | |
| 福祉教育部会 | ◎藤原正岳、○荒川賢一、松田征男、菅原淳子、茶谷つぐ美 |
| 産業経済部会 | ◎水本 守、○平田耕二、谷口栄二、佐藤 厚、雪田明美 |
| 環境行財政部会 | ◎齊藤宏行、○佐藤智三、山田洋子、山崎晴一、小野善彦 |

| | |
|---|-------------------|
| ※2 行政評価委員会（行政内部） 委員長 今泉和司、 副委員長 渡邊英行 (◎は部会長 ○は副部会長) | |
| 福祉教育部会 | ◎羽野保則、○玉置一広、清水目桂子 |
| 産業経済部会 | ◎木戸一博、○吉田克彦 |
| 環境行財政部会 | ◎渡邊英行、○長谷川 浩、阿部憲一 |

| | | |
|---------------------|------|-------------------|
| ※3 三部会の評価施策数 | | |
| 福祉教育部会 | 12施策 | 〔41主要施策（123事務事業）〕 |
| 産業経済部会 | 6施策 | 〔17主要施策（50事務事業）〕 |
| 環境行財政部会 | 13施策 | 〔44主要施策（85事務事業）〕 |

| | | | |
|-----------------|------------|-----|------------|
| ※4 四段階評価 | | | |
| A評価 | 取り組んでいる | B評価 | 概ね取り組んでいる |
| C評価 | 一層の取り組みが必要 | D評価 | 取り組みが見られない |

3 評価の経過

美深町行政評価の実施に関する取扱要綱に基づいて、平成26年7月30日に第1回行政評価委員会を開催以降、8月12日には第1回の行政評価町民委員会を開催し、次のとおり行政評価を実施した。

- ・ 5月26日 1次(事務事業)評価調書作成
- ・ 6月10日 2次(主要施策)評価調書作成
- ・ 7月30日 第1回行政評価委員会
- ・ 8月12日 第1回行政評価町民委員会

- ・ 8月12日 第1回各部会開催（3部会～2次評価結果確認作業）
- ・ 8月19日 第2回福祉教育部会（合同会議）
- ・ 8月21日 第2回環境行財政部会（合同会議）
- ・ 8月29日 第2回産業経済部会（合同会議）
- ・ 9月 2日 第2回行政評価町民委員会
第3回各部会開催（3部会評価結果確認）

4 評価の結果

31施策のうちA評価は19施策[61.3%]（前年度：19施策）、B評価は12施策[38.7%]（前年度：12施策）、C評価、D評価はなかった（前年度もなし）。

このようなことから、第5次美深町総合計画に基づく施策のほとんどは、取り組みがなされている若しくは概ね取り組まれているものと評価できる。

主要政策ごとに区分した施策の評価結果の概要については、以下のとおり。

| 1 自然環境と調和する安全・安心なまち「美深」 | | 2 資源をいかす活力に満ちたまち「美深」 | |
|-------------------------|--------------|----------------------|----------------------------|
| 1 環境保全・環境衛生の推進 | A (B) | 1 農業の振興 | B (A) |
| 2 道路・交通網等の整備 | B (B) | 2 林業の振興 | A (A) |
| 3 住宅の整備 | B (B) | 3 商工業の振興 | A (A) |
| 4 計画的な土地利用 | A (A) | 4 観光の振興 | A (A) |
| 5 消防・防災体制の充実 | B (A) | 5 新たな地場産業の創出 | B (B) |
| 6 交通安全・防犯対策の推進 | A (A) | 6 就労対策・勤労者福祉の充実 | A (A) |
| 7 情報化の推進 | A (A) | | |
| 8 消費生活対策の推進 | A (A) | | |
| 3 次代を創る人を育てるまち「美深」 | | 4 健康で明るく暮らせるまち「美深」 | |
| 1 幼児教育の充実 | A (A) | 1 健康づくり・医療の充実 | B (B) |
| 2 学校教育の充実 | A (A) | 2 子育て支援の充実 | A (A) |
| 3 家庭・地域教育の充実 | B (B) | 3 高齢者支援の充実 | A (A) |
| 4 社会教育の充実 | B (B) | 4 障がい者支援の充実 | A (A) |
| 5 芸術・文化活動の推進 | B (B) | 5 地域福祉の充実 | A (A) |
| 6 スポーツ活動の推進 | A (B) | 6 社会保障の充実 | A (A) |
| 5 みんなでつくる心かようまち「美深」 | | 集 計 | |
| 1 住民主体のまちづくりの推進 | B (B) | A評価 | 19施策 [61.3%] (19施策) |
| 2 コミュニティ活動の充実 | A (A) | B評価 | 12施策 [38.7%] (12施策) |
| 3 男女共同参画の推進 | B (B) | C評価 | 0施策 [0%] (0施策) |
| 4 交流活動の推進 | A (A) | D評価 | 0施策 [0%] (0施策) |
| 5 行政経営の充実 | B (B) | 計 | 31施策 |

〈注〉 ()書きは前年度の評価結果。□は前年度よりも評価が上がったもの、■は前年度より下がったもの。

○ 自然環境と調和する安全・安心なまち「美深」

環境保全・環境衛生の推進では、新エネルギー普及事業に関しては、びふか温泉へのバイオマスボイラー導入に向け設計を実施し26年度中の整備へ向け順調に進められている。

また、一般住宅向けの太陽光発電設備などの新エネルギーの活用支援制度も整備され、今後の活用、普及が期待される。

上下水道の整備では、未普及地域への区域拡張分の整備が終了するなど、順調に進んでいる。町財政が厳しい中、現在、長寿命化計画を策定し、財源の確保を図るなど努力が見られ、引き続き経営の安定化に努められたい。

道路・交通網等の整備では、公共交通の充実では、仁宇布線デマンドバス、市街地のフレンドバスの運行取り組みについては、評価できる。

橋梁長寿命化計画が完了したほか、道路整備についても計画以上に進捗が図られている。

多額な負担を要する雪寒機械の更新事業については、機械のオーバーホール対応など努力しているが、冬期間の住民生活には欠かすことができないものであり、除雪体制の維持確保を図る点から、安定した事業推進が望まれる。

住宅の整備では、公営住宅を含む町全体の住宅需要はあり、本計画に基づく住宅施策の推進が図られていると評価する。

美深町住生活基本計画に基づく住宅施策は推進されていると判断するが、公営住宅の需要に団地によって希望するなどの変化が見られる。民間住宅の供給状況を見据えた中で、公共住宅の供給を進める必要がある。

計画的な土地利用では、土地利用に関しては、空き地、空家の活用対策や商店街の空洞化対策などの展開に期待する。

公園・緑地の整備では、都市公園や農村公園を指定管理により良好に管理されていると評価する一方で、「望の森」のトイレなど老朽化している施設も見受けられることから、計画的な改修が望まれる。

消防・防災体制の充実では、消防・救急デジタル無線化への整備移行が順調に進んでおり、災害に対して、より迅速に対処されるものと期待する。

消防団の充実では、消防防災体制の中核的組織として、住民の安心・安全の確保を果たしているが、団員の高齢化や団員確保について懸念がある。

災害対策基本法の一部改正に伴う地域防災計画の見直しが急がれる。

これまでは、災害の少ない地域と認識されてきたが、気象や気温に異常な変化が見られることから、防災体制を一層充実したものにすることが必要がある。

交通安全・防犯対策の推進では、交通安全、地域安全運動等、住民参加と警察や関係機関と連携し日常的、効果的な運動が推進されており評価できる。

防犯対策の推進では、計画的な街灯改修事業の実施により、省エネを図ると共に犯罪のない安全安心のまちづくりの推進が図られており評価できる。

情報化の推進では、全町への高速情報通信網（光ファイバー）の整備により、多様な情報提供の充実が図られている。超高速ブロードバンド利用者が当初計画より伸びており、期待以上の成果があり評価できる。

防災情報端末を活用した見守り活動等への活用など、今後更なる利用促進を期待する。

消費生活対策の推進では、消費生活相談体制の強化では、定住自立圏域の形成により広域で専門相談員が配置され相談業務が行われており評価する。

消費生活に関する情報提供・啓発活動の推進では、身近な犯罪への防止対策に引き続き取り組むと共に、新たな消費生活課題へも柔軟に取り組む必要があるため、広報誌や防災情報端末を活用した啓発・広報活動を充実されたい。

以上のとおり、『**自然環境と調和する安全・安心なまち「美深」**』における施策評価は、A評価が5施策、B評価は3施策であり、全8施策について良く取り組まれていると評価する。

○ 資源をいかす活力に満ちたまち「美深」

本町の基幹産業である**農業の振興**は、きめ細かく施策が実施されており、今後もより成果が上がることを期待している。

特に農業経営者の高齢化と後継者不足は急速に進んでいる中、農業研修生等宿舎が建設され、農業の担い手の確保につながるべく施設を活用した取り組みが評価できる。

草地整備改良等事業は天候の影響を受け一部未実施ではあるが、今後も引き続き必要な事業である。

農業後継者育成奨学金の貸付事業については平成 25 年度の貸付はなかったが今後も活用に向けた取り組みが必要である。

また、農業雇用確保対策事業について、平成 25 年度に畑作振興事業で小麦播種機の導入が図られ、省力化につながっているが、雇用確保対策の施策を検討いただきたい。

農業とあわせて、**林業の振興**も本町の基幹産業であり、美深町木質バイオマス原料安定供給に関する協定が締結されるなど、木質バイオマス等の導入にむけた予算措置がされ、林業経営安定化につながっている。

また、森林作業員長期就労促進事業など、作業員の福利厚生や長期安定雇用の促進が図られている。

商工業の振興においては、商工会に対する支援は特に充実していると高く評価する。

名寄美深道路の開通により市街地通行車両が減少となったが、今年度も引き続きプレミアム商品券の発行により商店街の活性化が図られてきている。

また、商工業担い手支援制度が完成し運用の準備ができ今後に期待ができ、さらに平成 25 年度から快適な住まい環境と商工業振興事業については新エネルギー導入に対しても助成を行うよう拡充され、地元建設業等へも経済波及効果が図られた。

観光の振興は、継続して広域的に行っている、きたいっしょ推進協議会元気つけに北でしようプロジェクトの取り組みによりこの地域の観光情報が広く発信され、観光客の誘致に好影響をおよぼしている。

また、観光協会を中心に教育旅行の受入整備体制を図るため積極的に事業を展開しており評価ができる。

新たな地場産業の創出は、新たに美深町イメージキャラクターの包装紙を活用した「マドレーヌ」が開発され、「かぼちゃどぶろく美深」も販売が2年目をむかえ好評を得ている。少しずつではあるが、活性化が図られてきており、すぐ成果が出るわけではないので、

今後も特産品の開発に期待する。

平成25年度において起業家育成支援事業の対象者がいなかったものの今後も起業家を
目指す人材育成を継続されたい。

就労対策・勤労者福祉の充実においては、今後もパソコン講習や資格取得の助成を行う
など継続されたい。

退職金共済制度や勤労者福祉資金は大切な制度であり、今後も継続的に利用促進に向け
PR等検討を行う必要がある。

以上のとおり、『資源をいかす活力に満ちたまち「びふか」』における施策は、A評価
が4施策、B評価が2施策であり、全6施策はほぼ取り組まれていると評価する。

○ 次代を創る人を育てるまち「美深」

幼児教育の充実では、幼児教育の充実、子育て支援事業ともに、住民ニーズに即した運
営が行われており評価できる。

そのなかで、保護者の働き方の多様化に対応する柔軟な取り組みがされることにより、
更に他町村より充実した子育て環境になると期待できる。

学校教育の充実では、いずれも良く取り組まれていると評価する。

山村留学推進事業は受入れの継続性が難しく全国的に減りつつあるが、留学希望者は多
い状況にあることから、受入体制の拡充が図られればなお良い。また、地域とまちなかの
児童生徒が触れ合う機会の充実により、お互いの豊かな人間性の育成につなげてほしい。

家庭・地域教育の充実は、仁宇布小学校において放課後児童の安全・安心な居場所づく
りとして、学校に居られる取り組みを新たに実施しており評価できる。

今後は、こども教室などの取り組みが、地域に広がることを期待する。

社会教育の充実は、文化事業は施設も充実している中でマンネリ感も否めないものの、
新たな事業も展開されており努力が見られる。

学習機会の充実については、より参加しやすい工夫に期待する。

図書室は、夏季の1時間延長や蔵書の多さ、新刊入庫の充実など評価できる。本を違う
場所で返却できるようなシステムが可能なら、さらに利用しやすい環境となるであろう。

芸術・文化活動の推進は、資料館の展示更新については、歴史的な面から資料が限られ
ており、現実的には難しいと思われる。

自主事業については、名寄の市民ホール完成後の影響など心配な点もある。

文化ホールは音響が良いと評判であり、子供達の聞く機会や町民が舞台に立てる機会を
増やすなど、更に工夫と充実を期待する。

スポーツ活動の推進は、こどもスポーツ未来基金の創設は、青少年スポーツの振興に大
いに期待できるものであり、高く評価できる。

エアリアルは特殊なスポーツで町民の関心度が低いため、指導者や練習環境の充実など
により、活躍できる選手の育成に期待する。

老朽している運動施設の環境改善に引き続き取り組むとともに、利用方法やルールの周
知などにも努められたい。

以上のとおり、『次代を創る人を育てるまち「美深」』における施策評価は、A評価が

3施策、B評価は3施策であり、全6施策を通して良く取り組まれていると評価する。

○ 健康で明るく暮らせるまち「美深」

健康づくり・医療の充実は、各種検診事業は、きめ細かく行われているが、受診率向上に向け引き続き改善に努めてほしい。

安心できる医療体制の確保のため、病院への支援と指導を継続されたい。

子育て支援の充実は、特に良く取り組まれており、町民からも優れていると評価が高い。今後も質を落とさないよう引き続き取り組んでほしい。

高齢者支援の充実は、よく取り組まれており、政策の維持を望むが、地域の高齢化や核家族化がますます進んでいく中で、深夜における移送支援など新たなサービスの充実に期待する。

ほっとプラザの銭湯における料金などは、適宜見直しながら運営されたい。

障がい者支援の充実は、他町村と比較しても支援やニーズにも適切かつ積極的に対応されており、評価する。

地域福祉の充実は、充実していると評価する。今後も質を落とさないよう引き続き取り組んでほしい。

社会福祉協議会は財政的に厳しい部分もあり、町の支援充実に期待したい。

社会保障の充実は、国の制度の部分はすべてしっかり取り組まれていると評価する。

以上のとおり、『健康で明るく暮らせるまち「美深」』における施策評価は、A評価が5施策、B評価は1施策、全6施策を通しては、良く取り組まれていると評価する。

○ みんなでつくる心かようまち「美深」

住民主体のまちづくりの推進では、地域おこし協力隊員を新たに4名確保し、5名体制でそれぞれ専門性をもった事業の推進を担っており、今後の活躍に期待する。

地域人材育成事業では、地域リーダーの育成事業として、民間と町職員との研修参加に取り組んでいるが、参加者の募集や継続したリーダーの育成等、その手法を研究する必要がある。

新しい公共事業については、買い物宅配支援サービスの推進、見守り支援などの推進など評価できる。

コミュニティ活動の充実では、一定の支援により自治会活動の推進が図られているが、高齢化やリーダー、担い手不足は各自治会共通課題となっており、行政の指導を期待すると共に、一定的な支援策も検討すべき。

地域集会施設等の充実では、老朽化による修繕やコミュニティ助成事業を受けて備品の整備など継続して対応されており、よく取り組まれていると評価する。

男女共同参画の推進では、男女共同参画意識の高揚では、行政の各種委員の女性参加は進んでいる。また、町内の各種行事等への女性参加も多く見られ評価できる。

男女共同参画社会の促進では、一層の啓発活動の充実と積極的参加を期待する。

交流活動の推進では、物産PR販売をはじめとする地域間交流活動の推進やふるさと美

深会活動において、新たに関わる町民が増えてきている傾向にある。各地に住まいする本町出身者等との人的ネットワークづくりを一層推進されるよう期待する。

また、若手の参加が低調であり、次代を担う若手の交流機会の創出をはじめ将来に向けて一工夫が必要である。

行政経営の充実では、上川広域滞納整理機構への加入により、公平な滞納処分の対応を含め滞納繰越額が改善傾向にあり、加入効果が現れている。

厳しい財政状況下にあることから、役場庁舎の改修について先送りされているが、築51年を経過し老朽化が進行し耐震性も十分でないことから、各種災害時の本部機能を果たす必要があることなどからも将来の財政見込みを見据え、災害に強い庁舎の確保に向けた計画を推進すべきである。

以上のとおり、『みんなでつくる心かようまち「美深」』における施策評価は、A評価が2施策、B評価は3施策、全5施策については概ね取り組まれていると評価する。

以上、平成26年度行政評価報告とする。

